

夢ある「地域共生社会」を目指して ～支え合う人生100年時代の介護～

第56回関東ブロック老人福祉施設研究総会・ 第19回かながわ高齢者福祉研究大会合同大会

オンライン開催

配信
期間

令和3年 6月30日(水)～7月31日(土)

▼プログラム▼

- 関ブロ研究総会式典・基調報告
 - 》主催者・来賓挨拶
 - 》令和2年度・令和3年度感謝状受賞者紹介
 - 》基調報告(全国老人福祉施設協議会 常任理事・業務執行理事 園田修光氏)
 - 》次回開催県紹介(山梨県)
- 特別分科会 介護報酬改定・新型コロナ対応 複数題を予定
- 関ブロ研究総会研究発表(40題程度)
- かながわ大会研究発表(60題程度)
- かながわ大会介護技術発表(10題程度)

全120題近くの
研究発表・介護技術発表を
ご視聴頂くことができます

参加費

参加者1名あたり10,000円

(1名ごとに視聴ID・パスワードを発行します)

視聴
方法

合同大会Webサイト上に、特設ページを設置予定です。
視聴ID・パスワードを入力の上ご視聴頂きます。

合同大会Webサイト <http://www.kanagawafukushitaikai.jp/>



主催

公益社団法人全国老人福祉施設協議会 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会
社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会 かながわ高齢者福祉研究大会合同実行委員会

夢ある「地域共生社会」を目指して

～支え合う 人生100年時代の介護～

オンライン開催

開催趣旨

現在、わが国では高齢化、人口減少による担い手不足や住民同士の関わり合いの希薄化に加えて、新型コロナウイルスの蔓延（影響）により、さらに人と人とのふれあい（交流）が困難となり、地域でお互いに支え合う力が更に弱まってきています。

地域に関わる人の誰もが役割を持ち、参画することで複雑化する課題解決に向けて地域一体となり、「地域共生社会」を実現していくためにも、人生100年時代の介護のあり方をコロナ禍においても探ることが求められています。

関東ブロック老人福祉施設研究総会を開催するにあたり、本県独自で開催してきた、かながわ高齢者福祉研究大会と合同開催することによって、より多くの地域に関わる方々に高齢者福祉の魅力を発信し続け、高齢者福祉施設職員等による研究・実践活動や介護技術、またコロナ禍での感染予防の取り組みの発表の場として提供し、職種や年齢という領域を超えて共に学び合い、研鑽することを目的としています。

昨年からの新型コロナウイルスにより、人とのつながりが分断され、地域とのかかわり方、介護施設のコロナ禍における運営など未知の経験をする事となりました。そんな今だからこそ、コロナ禍でも高齢者福祉に関わる私達の研究や実践活動を共に学びあい、新たな活動に生かすことが、「地域共生社会」人生100年時代の介護のあり方につながるものと信じています。今年度の大会は「コロナ禍の新しい形」として初の試みである完全オンラインでの開催となります。

動画配信期間

令和3年6月30日(水)～7月31日(土)

主催

関東ブロック老人福祉施設連絡協議会
社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会
関東ブロック老人福祉施設研究総会・かながわ高齢者福祉研究大会合同大会実行委員会

共催

公益社団法人全国老人福祉施設協議会
一般社団法人神奈川県高齢者福祉施設協議会
社会福祉法人横浜市社会福祉協議会高齢福祉部会
社会福祉法人川崎市社会福祉協議会老人福祉施設協議会
社会福祉法人相模原市社会福祉協議会高齢者福祉施設部会

後援(予定)

神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市

協力

神奈川県介護福祉士養成校連絡協議会

大会プログラム（予定）

関東ブロック老人福祉施設研究総会	1 式典 50分	<ul style="list-style-type: none"> ● オープニング ● 歓迎挨拶 ● 主催者挨拶 ● 来賓祝辞 ● 令和2年度・令和3年度感謝状受賞者紹介 ● 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会 各都県市代表者紹介 ● 基調報告（全国老人福祉施設協議会 常任理事・業務執行理事 園田修光氏） ● 次回開催県紹介（山梨県）
	2 特別分科会 30分 20分 20分×6題	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和3年度介護報酬改定のポイント、次期介護報酬改定に向けて (全国老人福祉施設協議会 理事 小泉立志氏) ● 新型コロナウイルス感染症への対応について (全国老人福祉施設協議会 副会長 木村哲之氏) ● 新型コロナウイルス感染症への対応に関する現場からの報告 報告予定：千葉県 向日葵（ケアハウス）／群馬県 ゆたか（特養） 埼玉県 総合ケアセンターリバー・イン（特養） 東京都 博水の郷（特養）／神奈川県 陽光の園（特養） 山梨県 シルバーカレッジ奥湯村（ケアハウス）
	3 分科会研究発表 15分×36題	<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 認知症・中重度者ケアの取組 ● 暮らしを楽しむ工夫 ● 多職種間連携と業務改善の取組 ● 介護人材の確保・定着・処遇改善に関する取組 ● 在宅サービスの取組 ● 社会福祉法人における取組 ● 養護・軽費・ケアハウスの課題と今後の方向性
かながわ高齢者福祉研究大会	4 研究発表 10分×58題	<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 食事・栄養・口腔ケア ● 排泄・入浴ケア ● 認知症ケア ● ターミナルケア・医療との連携 ● 安全管理 ● アクティビティ・リハビリ・レクリエーション ● ケアプラン・相談援助 ● ユニットケア・グループケア ● 人材育成・業務改善と効率化 ● 地域密着（グループホーム）・小規模多機能 ● 地域包括支援センター ● デイサービス事業 ● 訪問介護・居宅支援事業 ● 養護・軽費・ケアハウス等 ● 地域共生社会 ● その他
	5 介護技術発表 20分×7題	<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 移動・移乗 ● 自由発表

※全国老人福祉施設協議会役職につきましては、令和3年3月末時点のものを記載しています。

各プログラムについては4ページから掲載しております。

関東ブロック老人福祉施設研究総会

・特別分科会
今般の高齢者福祉を取り巻く「介護報酬」「新型コロナウイルス感染症への対応」について、現状や今後への展望、各施設の取組について管理者・施設職員の立場から報告します。

・分科会研究発表
関東ブロック各都県政令市の高齢者福祉施設職員が、日々の実践や研究成果を発表します。評価者による評価並びに全国老人福祉施設協議会研究大会への推薦者を決定します。

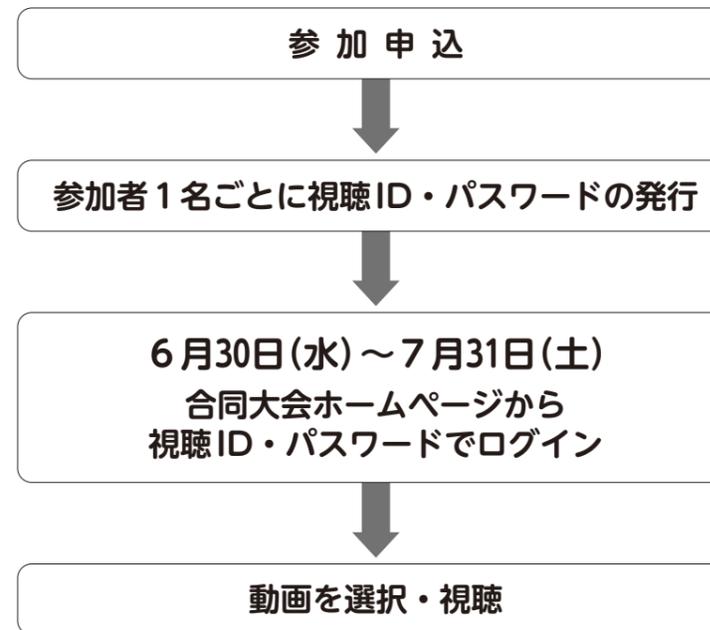
かながわ高齢者福祉研究大会

・研究発表
県内の高齢者福祉施設職員が、日々の実践や研究成果をプレゼン形式で発表する、かながわ高齢者福祉研究大会のメインプログラムです。過去18回大会では、延べ2,434題の研究発表が行われてきました。発表には、新人職員から施設長まで、介護職員や看護師、栄養士、事務職員等、多様な立場や職種の方が参加されます。

・介護技術発表
平成21年から実施している実技型のプログラムです。職員が日ごろから実践する介護技術を実演します。介護分野の有識者からの講評もあります。

動画視聴について

・関心のあるプログラム、テーマについて全てを視聴頂けます。
・配信期間内は、いつでも何度でも視聴が可能です。
・参加者1名ごとに視聴ID・パスワードを発行します。



◆留意事項

- ・動画の録音、録画、撮影、転用、資料の外部提供は固く禁止します。
- ・動画視聴ID・パスワードは申し込まれた方のみ利用可能です。

関東ブロック老人福祉施設研究総会 特別分科会・分科会研究発表一覧

特別分科会		第 1 分科会	第 2 分科会	第 3 分科会	第 4 分科会	第 5 分科会	第 6 分科会	第 7 分科会
新型コロナウイルス感染症に関する発表		認知症・中重度ケアの取組	暮らしを楽しむ工夫	多職種間連携と業務改善の取組	介護人材の確保・定着・処遇改善に関する取組	在宅サービスの取組	社会福祉法人における取組み	養護・軽費・ケアハウスの課題と今後の方向性
テーマ		都都市・施設名・職種・氏名	都都市・施設名・職種・氏名	都都市・施設名・職種・氏名	都都市・施設名・職種・氏名	都都市・施設名・職種・氏名	都都市・施設名・職種・氏名	都都市・施設名・職種・氏名
発表要旨		発表要旨	発表要旨	発表要旨	発表要旨	発表要旨	発表要旨	発表要旨
都都市・施設名・職種・氏名		発表要旨	発表要旨	発表要旨	発表要旨	発表要旨	発表要旨	発表要旨
新型コロナウイルス感染症の集団感染を経験して		新潟県：（特養）みしま園	群馬県：（特養）春日園	東京都：（特養）谷中	川崎市：（特養）しゃんぐりら	静岡県：（特養）愛華の郷	群馬県：（特養）希望館	静岡県：（養護）奥山老人ホーム
ケアハウスにおける新型コロナウイルス感染症の集団感染対応及び課題について		リーダー介護職員 齋藤 京子 総括主任介護職員兼介護支援専門員 名地 一直	介護課主任 藤井 愛 介護福祉士 富澤 久子	介護福祉士 三浦 志帆 生活相談員 小野田 祐也	副施設長 田嶋 裕一郎	施設長 阿井 孝訓	施設サービス部課長 伊与久 裕之	施設長 峰野 政博
千葉県：（ケアハウス）向日葵 施設長 山口 智史		私たちはご利用者の夢を実現します。 ソノヒト・ラ・シートからゆめが・カナ イ・マ・シートへ 夢を通してその人らしい生活を目指す	褥瘡が増えてしまい「プロジェクト」発足し、成果がありました。しかしゼロにできず、今回の取り組みを考えました。	認知症ケアにおける尊厳の保持 ～レビー小体型認知症Aさんの自立支援について～	H31.3～受け入れている外国人技能実習生（5名）の受入れ準備から実際の実習指導体制、経過、課題、効果について	藤枝市の介護予防・日常生活支援総合事業の取組内容を、地域包括支援センター運営者とサービス事業者の両視点から発表したいと思います。	施設が持つ介護における様々なノウハウを在宅で介護をされている方へフィードバックし活かしていただくための取組みを発表します。	静岡県老協養護委員会が措置権者や県にかけた活動や経緯とその取組みについて発表し、養護老人ホームの経営を考える。
施設でのコロナ陽性者発生を経験して		埼玉県：（特養）今羽の森	横浜市：（特養）しらゆり園	川崎市：（特養）金井原苑	埼玉県：（特養）杏樹苑爽風館	相模原市：（デイ）	埼玉県：（特養）真寿園	栃木県：（養護）アオーラ而今
年明けからの特養入所者及び短期利用者の新型コロナ陽性者発生後の対応とその経験で得た考察を皆様にお伝えします。		ユニットリーダー 中澤 智美 ユニットリーダー 安中 裕美	介護職員 飯弘 晃司 介護職員 高浜 愛	介護主任 伊知地 大	介護係長 石川 瑞穂 ユニットリーダー 林田 香菜子	千代田デイサービスセンター 介護支援専門員 管理者 日高 明夫	事務員 岩澤 緑 施設長 小野塚 由美子	生活相談員 豊岡 拓也 生活相談員 吉田 雅也
群馬県：（特養）ゆたか 副施設長 島田 幸治		認知症ケアについて、アプローチ内容や、研究結果、考察を基に、A様の意思に添ったより良いケアの実現について発表します。	食事をおいしく食べるための多職種連携～動画を活用して～	かないばら苑の、みんなで支える看取りについての考え方やプロセス。 14年という経験から培ってきたものについて	「生活支援記録法を活用したリフレクションによる人材育成」と題し、介護職員のアセスメント力の向上と多職種での記録一元化を図った取り組みを発表します。	『在宅での見取り』意思決定とチームケア	「食を通して世代間交流を図る～かすみキッチン～」	共生社会へ向け、地域連携における「我がこと」「丸ごと」の意識連携（地域・企業・養護老人ホーム・ケアハウスの連携事例）
特養クラスター発生時の対応		静岡県：（特養）白扇閣	長野県：（特養）ローマンうえだ	新潟県：（居宅）	群馬県：（特養）菜の花館	東京都：（居宅）	横浜市：（地域包括）	埼玉県：（ケアハウス）あかつき
当施設において新型コロナウイルスクラスターが発生しました。発生までの経緯、施設での対応、互助ネットワークの活用等の報告をさせていただきます。		主任介護職員 小泉 尚平 副主任介護職員 大村 悠介	介護福祉士 介護副主任 青木 寛明 ユニットリーダー 福原 奈奈美	みなかみの里在宅介護支援センター 主任介護支援専門員 柴田 香菜子 主任介護支援専門員 吉村 美岐	介護課長 金井 滝恵 介護主任 野尻 実穂	舟渡居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 滝本 淳	地域包括支援センター若竹苑 主任ケアマネージャー 佐野 聡郎	副施設長 中澤 常行 生活相談員 飯塚 晶
埼玉県：（特養）総合ケアセンターリバー・イン 副施設長 大西 祐輔 生活相談員 張替 健太		ICT導入により、認知症重度者の生活状況の見える化をおこない、生活習慣の改善と職員の介護負担の軽減をおこなった事例です。	胃ろう造設後も本人の「食べたい」という思いを多職種で連携し、経口摂取が一部可能に。現在馴染みだした生活に再チャレンジ中。	「ICTを活用した多職種協働による、ご利用者の社会参加に向けての自立支援」をテーマに介護支援専門員の立場から実践報告する。	～挫折と失敗を繰り返し、そして未来へ～ プリセプター制度を導入し、現在奮闘中です。 経過と現状を報告致します。	居宅介護支援事業所におけるサービス事業所の情報提供の質向上 ～個人の強みから組織の強みへ～	孤立している人とつながろうという取り組みから始まった、丸ごとの地域づくりへの取り組みの振り返りと今後の展望	認知症の出現や高齢化など多様化して行く中で、職員の「どこまで対応すれば？」と 言う課題について、発表します。
社会的検査後の対応と対策		栃木県：（特養）敬愛荘	横浜市：（特養）サニーヒル横浜	神奈川県：（特養）衣笠ホーム	東京都：（特養）砧ホーム	千葉県：（地域包括）	千葉県：（特養）柏きらりの風	長野県：（養護）尚和寮
令和2年11月、世田谷区による、高齢者施設の無症状者に対する社会的検査により、15名の陽性者が発生した施設の対応と対策		介護職員 佐藤 力 介護主任 滝沢 祐希	フロアリーダー 松本 美智子 フロアリーダー 兵頭 潤一	管理栄養士 村上 まさみ	機能訓練指導員 小谷野 祐樹 介護副主任 三浦 好顕	千葉市あんしんケアセンター桜木 社会福祉士 牧田 裕明 主任介護支援専門員 赤間 美恵子	副施設長 岡田 卓也 施設長 宇佐美 さくら	サービス提供責任者・主任 児島 麻美 計画作成担当者 栄島 大輔
東京都：（特養）博水の郷 施設長 田中 美佐		重度化が進む従来型特養のチャレンジ ～新たな支援方法の導入と心地良い介護のあり方～	心疾患のため看取り介護の同意となったご利用者の実家に帰りたいという願いをかなえた結果、前向きに過ごせるようになった。	経腸栄養から経口摂取へ ～口から食べられる喜びふたたび～	スケールを用いてリフトの優先度を判断することによる効果的な持ち上げない介護の実現 ～専門職としての想像と創造 We are professional～	地域で困っている認知症の方を、認知症初期集中支援チームと連携して在宅で安心して生活できるように支援した事例を検証した。	地域と共に… ～共生社会に向けて～	養護老人ホームの現状と課題 ～求められる社会的役割とその実践について～
本来の自分を取り戻して・・・		神奈川県：（特養）はなの家とむろ	神奈川県：（養護）	山梨県：（特養）仁生園	茨城県：（特養）もみじ館	栃木県：（デイ）	東京都：（デイ）	千葉県：（ケアハウス）くつろぎの里
コロナ禍における精神的不安から来る施設入居者の体調不良に対する対応		介護福祉士 竜崎 健一郎 介護福祉士 網川 浩子	えびな南養護老人ホーム 介護職員 大塚 貴子	管理栄養士 斉藤 綾 介護職員 原藤 聡美	介護職 ユニットリーダー 関根 大輔 他1名	健康デイサービスセンターけやき 生活相談員 中島 敦史	地域密着型通所介護つるま屋 相談員 石井 正	主任介護支援専門員 小川 盛 相談員 井領 知香
山梨県：（ケアハウス）シルバーカレッジ奥湯村 生活相談員 遠藤 由香里		特養入所時に介護に対する拒否が強い為、他者との交流もほとんど出来ず一人で過ごされていた。施設全体の職員とのかかわりの中で心穏やかな生活が送れるように入り組んだ経過である。	自立した避難訓練 入居者と避難訓練を行う事で、「させられる訓練」から自発的に行う訓練になるよう取り組みを行っています。	なかなか飲み込みが出来ず、ムせてしまう利用者様の食事が苦痛ではなく楽しみになるにはどうしたらよいか様々に工夫を試みました。	離職率の低下 平成30年度 7.2% 令和1年度 1.3% と、離職率減少に成功。 その取り組み内容の発表	利用者様の住み慣れた自宅で生活し続けたという思いに伝えるため、事業所として何が出来るのか？を考え直した取り組みについて	デイサービスが考える地域密着型サービスとしての取組みと利用者の活動 ～有する能力を大切に～	「ケアハウスでの看取り・ケアマネが出来る事」の取組みについて ～身寄りのいない高齢者を最後まで支えるには？～
新型コロナウイルスから守りたいものがある。コロナ状況下でも福祉のこころを大切に 新型コロナウイルスから入居者、職員を守るために施設全体で模索した2021春までの1年間の取り組み報告							茨城県：（特養）北勝園 総務主任 稲葉 浩和	
神奈川県：（特養）陽光の園 介護課 主任 澤地 美明 介護課 リーダー 松本 育枝 増田 綾子 古屋 智恵							住みやすい地域づくり 地域に昔からある老人ホームが、近寄りやすいイメージを払拭し、地域福祉の拠点になる為、さまざまな取り組みをしています。	

[テーマ]	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場
1. 食事・栄養・口腔ケア	ご入居者・職員 快適な入浴でWIN-WIN! ～prevent back pain～ 特別養護老人ホーム かわいの家	口腔内清掃による衛生保持について 介護老人福祉施設 わかたけ富岡	ラジオ体操 第一～ ご利用者の声から始まった健康の輪 レジデンシャル常盤台	心から満足してもらえる入浴を目指して 入浴拒否者へのアプローチ ハートフルガーデン川和	最後まで私らしく ～「たびじたく」と共に～ ニューバード獅子ヶ谷	楽しんで取り組む自立活動 仮想通貨を導入した環境作り 横浜市西金沢地域ケアプラザ	地域カフェ10カ所の立ち上げとその先へ ～地元企業と連携しての地域支援～ 横浜市六角橋地域ケアプラザ
2. 排泄・入浴ケア	開設10年、よりよい環境にしていけるために 働きやすい環境で、良い介護サービスを。 特別養護老人ホーム 潮見台みどりの丘	いつまでもおいしく口から食べる メーカー協働による高栄養ムース作り 特別養護老人ホーム 栗原ホーム	はじめチョロチョロ中パッパ ～皆でおいしく頂きました～ 特別養護老人ホーム シャローム	入浴意欲をかき立てる魔法のお風呂 わたし、あきらめなくていいんだ! 特別養護老人ホーム栗原ホーム	みんなで見守る穏やかな看取り 特別養護老人ホーム はなの家とむろ	歯科医師とケアマネの連携推進プロジェクト 幸風苑地域包括支援センター	高齢者の居場所作りと支援者の関与について 横浜市西区での2地域での事例を通して 横浜市宮崎地域ケアプラザ
3. 認知症ケア	ニーハオ!日本の介護を学びに来ました! 中国からのインターンシップ生を受け入れて レジデンシャル百合ヶ丘	摂食嚥下 ル・リアンふかみ	非日常から日常へ 365分の237 特別養護老人ホーム 菅田心愛の里	褥瘡ゼロを目指して 特別養護老人ホーム 弥生苑	看取り介護ってなんで不安なの? ～職員心のゆらぎ～ 湘南老人ホーム	相談員業務の改善について システム導入による変化 横浜市片倉三枚地域ケアプラザ	認知症カフェは誰にでも開かれた交流の場 「ほっこりカフェ」の開催と継続のために 特別養護老人ホーム 多摩川の里
4. ターミナルケア・医療との連携	「今日は珍しく日本人ばかりだね」 高齢者総合支援センター泉心荘	刻み食を安全に美味しく食べてもらいたい 恒春ノ郷	車いすが変われば生活が変わる プロジェクトW/C 七里ガ浜ホーム	自分の意思でトイレに行きたい! ～排泄援助加算算定による皆の変化～ 特別養護老人ホーム 逗子杜の郷	褥瘡改善までのプロセス お尻が痛い! 横浜市天神ホーム	多職種連携による生活リハビリの取り組み ～ひとりひとりの在宅生活に寄り添って～ 上永谷デイサービスセンターすずかけの郷	チーム常盤台で創り上げる「常盤台便り」 惹きつける記事を目指して! レジデンシャル常盤台
5. 安全管理	EPA介護福祉士候補生の受け入れ そして外国人介護人財へのマネジメント よつば苑	その方にあった食形態を提供するために 一握りとの関連について けいあいの郷 影取	え!?俺達が介護技術の先生!? ～委員会発足から現在までの歩み～ 特別養護老人ホーム ニューバード	私の散歩は「徘徊」と言われている。 安全管理等請負人(何でも屋?)の独り言 高齢者総合支援センター泉心荘	終末期における介護職の関わり 死の受容、死への準備と御家族様の心の揺れ わかたけ青葉	骨盤底筋体操による尿漏れ予防・改善の効果 特別養護老人ホーム はなの家とむろ	私達の災害対策 ゼロからの取り組み ちくぶ坂下ホーム
6. アクティビティ・リハビリ・レクリエーション	知っていますか?ショートステイの利用目的 利用者情報を把握することでケアが変わる スプリングガーデン瀬谷	栄養を改善するということ 加算を通して生まれた連携の輪 松林ケアセンター	Let's Make Therapy ～化粧品療法によるQOLの向上～ 特別養護老人ホームひまわりの郷	安全管理等請負人(何でも屋?)の独り言 まず行動する為の情報収集と共有方法 安心して利用者を守るためには 特別養護老人ホーム カトリアホーム	笑顔を取り戻したもの ケアプランの実現に向けて 特別養護老人ホーム太陽の家	ノーリフトケア習得宣言!! "みんな"を守る介護を実現するために 訪問介護看護いずみ	調査を通じての職員定着における強みと弱みの明確化 特別養護老人ホーム さつき
7. ケアプラン・相談援助	介護ロボットの有効利用とその利点 リショ-ネ運用から見える介護機器の今後 わかたけ鶴見	特養における歯科衛生士の役割 介護老人福祉施設ケアホーム三浦	自立支援と満足度向上を目指して! 行こう温泉旅行!! 特別養護老人ホーム すずかけの郷	安全確保を第一に アンケート結果を基に考察できる要因と分析 特別養護老人ホーム 天王森の郷	ショートステイにおけるユニットケア 24hシート編 特別養護老人ホーム かわいの家	～地域交流～共に生きがいと楽しみを!～ ～地域に開かれた施設を目指して!～ ケアハウス・ルツの家	自立支援介護 一人ひとりを考える ボーナビール二本松ケアセンター
8. ユニットケア・グループケア	新人職員にとって大切なこと 覚えよう新人のうちメモ大事 泉正園	最期まで口から美味しく食べれる喜びを ～個々にあった口腔ケアを～ 特別養護老人ホーム柴胡苑	入所者の生活をあきらめさせない 生活を変えた"座位姿勢"へのアプローチ えびな南高齢者施設	事例から考えるリスク対策の評価と課題 アンケート結果を基に考察できる要因と分析 特別養護老人ホーム 天王森の郷	眼で見る食事「やっぱりお寿司が大好き」 看取りでも大好きな物は食べられる! レジデンシャル常盤台	私たちの施設に合うILU活動を目指して ILU活動の今までとこれから 特別養護老人ホーム太陽の家二番館	リピーター獲得へ向けて 良質なケア・サービスの提供と接遇 特別養護老人ホーム 恒春の丘
9. 地域密着(グループホーム)・小規模多機能		入居者、家族、職員で作る栄養ケアマネジメント 特別養護老人ホーム 新緑の郷		ONE TEAM! 褥瘡ゼロを目指して! 褥瘡対策アンケートを通して見えたもの 特別養護老人ホーム 相模原敬寿園			
10. 地域包括支援センター							
11. デイサービス事業							
12. 訪問介護・居宅介護事業							
13. 訪問介護・居宅介護事業							
14. 養護・軽費・ケアハウス等							
15. 地域共生社会							
16. その他(在宅系)							

介護技術発表



関東ブロック研究総会と合同開催となる今年、10回目となる実技型のプログラムです。

本大会は、お互いの技術や工夫を発表することで、技術の向上や業務の改善のヒントとすることを目的としています。日頃、介護技術を披露する機会や、他施設の介護技術を知る事の少ない介護に携わる職員にとって介護技術の素晴らしさをアピールする場となります。

◆内容 日常の業務の中で従事者が向き合う場面について、次の2つの部門を設け、介護技術を発表します。

- 1 移動・移乗
- 2 自由発表

◆講評 福祉・介護分野の有識者による、実技内容についてのアドバイス、講評が行われます。

◆発表施設一覧

発表部門	施設名	発表部門	施設名
移動・移乗	スプリングガーデン瀬谷	自由発表	カトリアホーム
	寒川ホーム		たきがしら芭蕉苑
	陽だまり		高齢者総合福祉センターヒューマン
	あさみぞホーム		

大会参加の申込ご案内

(1) お申込み方法について

参加については、下記の要領で合同大会ホームページ専用フォームからお申込み下さい。

なお、参加申込締切後名鉄観光より請求書を発送させていただきます。また、変更事項やお取消につきまして、締切日まで行うことが出来ます。締切後は、変更・お取消は出来ませんのでご注意ください。

参加申込は合同大会ホームページ専用フォームにて名鉄観光サービス(株)横浜支店へ

<http://www.kanagawafukushitaikai.jp/>



〈申込期間〉 4月16日(金)～6月11日(金) 参加申込締切

期間内は、内容変更・取消が可能

申込締切後

順次、ご請求書を直接参加者施設宛にお送りいたします。

6月25日(金)までに

請求書の内容をご確認の上、請求金額をお振込み下さい。

6月30日(水)前後

ご入金を確認出来た時点で契約成立となります。
 順次 ・視聴ID・パスワードを登録メールアドレスにお送りします。
 ・本資料を直接参加者施設宛にお送りいたします。

(2) 参加費について

【大会参加費】 お一人様 10,000円

【申込締切日】 6月11日(金)

(3) 変更・取消について

◆お申込後の変更・取消は合同大会ホームページ専用フォームよりお願いいたします。

◆参加費につきましてはご入金後の返金はありません。予めご了承下さい。

(4) 個人情報の取扱いについて

名鉄観光サービス(株)は旅行申込の際ご提出いただいた個人情報について、お客様との連絡の為や輸送・宿泊機関等の提供するサービス手配及び受領のための手続きに利用させていただく他、必要な範囲内で当該機関等及び手配代行者に提供いたします。また、大会の円滑な運営のため、大会主催者にお客様の個人情報を提供させていただきます。それ以外の目的でご提供頂いた個人情報は利用いたしません。

上記の他、弊社の個人情報の取扱いに関する方針については、弊社の店頭又はホームページでご確認下さい。

■名鉄観光ホームページ (<http://www.mwt.co.jp>) ■

⇒各種約款・条件書等 (TOPページ最下部) について⇒運営、約款、条件書等、について⇒
セキュリティの確保について (個人情報保護方針、個人情報保護の対応について)

承認番号 K-19-18

《問合先》

旅行企画・実施 **名鉄観光サービス(株) 横浜支店**

観光庁長官登録旅行業第 55 号 一般社団法人 日本旅行業協会正会員

ボンド保証会員



旅行業公正取引
協議会 会員

〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町 4-52 横浜野村証券ビル 5 階

TEL: 045-641-4166 FAX: 045-641-4169

総合旅行業務取扱管理者: 善行地 潔 担当: 出口・渡辺・矢島

(総合旅行業務取扱管理者とはお客様の旅行を取り扱う支店での取引に関する責任者です。
この旅行契約に関し、外務員からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく記載の取扱管理者にお尋ね下さい。)

《営業時間》 月曜日～金曜日 10:00～17:00 休業日: 土・日・祝日

【合同大会実行委員会事務局】

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 福祉サービス推進部 施設・団体担当

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡 4-2

TEL: 045-311-1424 FAX: 045-320-4077

Email: sisetu@knsyk.jp